評価項目及び評価基準

1 評価点

評価点の算出方法は、次の合計点数とする。

技術(企画)審査点数 + 価格審査点数 = 合計点数 (100点満点) (130点満点) (130点満点)

2 技術審査点の点数化の方法

選定委員1人当たりの技術審査点の配点は、100点とする。また、表1評価項目及び配点(以下「表1」という。)に示す評価項目ごとに、表2評価基準(以下「表2」という。)で示す基準により評価し、各選定委員が項目ごとに算出した点数の合計を技術審査点数とする。なお、各評価項目の点数及び技術審査の点数の計算方法は、次に揚げるとおりとする。

- (1)各評価項目の点数=表1の各項目の配点×表2の評価による配分率 ※少数点第2位まで求める(小数点第3位以下は切り捨てる。)。
- (2)技術審査点数=前号で算出した各評価項目の点数の合計 ※少数点第2位まで求める(小数点第3位以下は切り捨てる。)。

表1 評価項目及び配点

評価項目	評価内容		配点	項目配点
	類似業務実績	プラスチック資源 循環関連の業務実	1 0	4
		情 インスの大		
		廃棄物処理施設整		3
		備に関する計画策		
		定業務の実績		
		循環型社会形成推		3
		進地域計画策定支		
		援業務の実績		
企業の実績・能力	認証取得状況	ISO9001(品質マ	3	1
		ネジメント)		
		ISO27001 (情報セ		1
		キュリティ)		
		ISO14001 (環境メ		1
		ネジメント)		
	業務実施体制	組織体制の適切性	2	1
		バックアップ体制		1
		の充実度		
小計			1 5	1 5

評価項目	評価内容		配点	項目配点
	管理技術者の能力	資格(技術士/ RCCM)	8	2
		類似業務実績		3
		廃棄物処理施設実 施設計の実績		2
配置予定技術者の 能力		経験年数		1
		資格(技術士/ RCCM)	8	2
		類似業務実績		3
	照査技術者の能力	廃棄物処理施設実 施設計の実績		2
		経験年数		1
	担当技術者の能力	資格	4	1
		類似業務実績		2
		経験年数		1
小計			2 0	2 0
業務実施方針	業務理解度	業務目的・内容の 理解度	7	4
		地域特性の把握		3
	実施手順・ 工程計画	作業フローの妥当 性	6	3
		工程計画の実現性		3
	業務上の課題認識	課題の抽出力	7	4
	と対応策			3
小計			2 0	2 0

評価項目	評価内容		配点	項目配点
技術提案	基礎事項の整理・ 他市町村の調査手 法	調査・分析手法の 的確性	6	3
		効率的な情報収集 方法		3
	分別取集・再商品 化の実施方法検討	比較検討手法の妥 当性	- 8	4
		地域特性を踏まえた提案力		4
	事業費算定・財源	コスト算定の精 度・信頼性	7	4
	計画の検討手法	財源計画の実現可 能性		3
	在四期打入形产粉	計画策定の手法		3
	循環型社会形成推 進地域計画策定支 援	一般廃棄物処理基 本計画との整合性 確認方法	6	3
	独自提案	仕様書に記載のな い付加価値提案	3	2
		創意工夫		1
小計			3 0	3 0
	説明の明確性	論理的な説明	5	3
		わかりやすさ		2
	質疑応答の的確性	質問の理解度	6	3
プレゼンテーショ ン・ヒアリング		回答の的確性		3
	取組姿勢	意欲・熱意	2	2
		コミュニケーショ ン能力	2	2
小計			1 5	1 5
価格審査	見積書	見積書による評価	3 0	
小計			3 0	
合計			1 3 0	

2 評価基準

<u>6 PIMETI</u>				
評価	評価内容	点数の算出方法 (配分率)		
A	特に優れている	配点 × 100%		
В	優れている	配点 × 75%		
С	普通	配点 × 50%		
D	やや劣る	配点 × 25%		
Е	劣る	配点 × 0%		

3 価格審査の点数化方法

価格審査の配点は、30点とする。価格審査における価格審査点数は、次の式によって算出する。

(例)

価格審査点数 = (最低見積価格(税込)/ 提案価格(税込)) × 30点 ※少数点第3位以下は切り捨てる。

4 審査方法

- 1 全ての委員の点数を集計し、合計得点が最も高い参加者を優先交渉者として決定する。
- 2 点数が同点の場合は、審査委員の多数決により優先交渉者を選定する。
- 3 委員の総合計点が満点の6割以上となる参加者がいなかった場合は、優先交渉 者を選定しない。